



Active stage at HK

～東海南中学校だより～ 令和2年9月号



ここが私のActive Stage 活!



の子はこんないい顔で頑張っているんだ」という発見がとても嬉しく、夢中でカメラのシャッターを切りました。

その中で、印象に残ったのが、音楽部ドラム担当二川凜さんの表情でした。今年度たった一度で30分だけのステージ。時には目を



閉じて1秒1秒をかみしめるようにドラムをたたき表情がすごく印象的でした。他にも、男子バスケットボール部岡田垣内聖斗君の躍動感あふれるプレー、女子バスケットボール部峠絢音さんの闘争心みなぎる目、野球部芝田千陽君の集中した真剣な顔、チームが劣勢でも最後まで声をかけ続けるバレー部キャプテン田中新菜さんの表情など、普段学校では見ることができない生き生きとした表情にたくさん出会いました。

やはり、部活は皆さんのアクティブステージですね。それは、自分が選んだ部活だからです。自分が好きで、頑張っていることだからです。「活」の基本は「自分が選んだこと」「やらされるのではなく自分からやる」なのかもしれませんね。そんな姿勢を「主体性」といいます。主体性は今の教育界で一番大切にされています。学校生活には部活だけでなく、他にも

たくさんのアクティブステージがあります。毎日の授業、委員会活動、挨拶や掃除、そして、2学期こそは体育祭や文化発表会等の行事ができることでしょう。皆さんが主体的に自分のアクティブステージに立ち、生き生きとした最高の表情をいっぱい見せてください。（始業式 式辞より）



「～してほしい」から「～したい」へ 生徒総会

7月31日、令和2年度生徒総会が行われま



した。はじめに今年の生徒会スローガン「Be strong～自分の殻を破れ」が生徒会長の服部賢慎君から発表されました。その後、各クラスの学級委員が、学級目標とともにクラスの長所・改善点・今後の努力点の発表がありました。どのクラスも現状からもっともっといいクラスにしたいという意気込みが感じられました。その後、学校への要望と回答に移りました。「ドアの鍵や靴箱の劣化、雨漏り、美術室にエアコンを」など主に古い学校の施設面に対しての要望がほとんどで、私（岩崎）も学校代

表として「できること・できないこと」一つ一つ回答しました。その中で、唯一、3年生から「合唱大会がしたい」という要望がありました。合唱は東海南中学校が誇る大切な活動です。3年生にとっては最後の合唱大会。そして、東海南の合唱を後輩にも引き継ぐという意味でも、3年生の想いは十分伝わりました。

「～してほしい」ではなく「～したい」という意志や気持ちを発表するということはとても大事です。「～してほしい」は自分には責任はないですね。でも「～したい」という意志表示には責任が生じます。コロナ渦の中、もし開催するとなれば、感染予防をどうすればいいのか、生徒が教員とともにしっかりと議論し考えなければなりません。自分らで企画し、責任を持って取り組む。それが「自治」です。生徒会活動は皆さんの「自治」の力を育む機会です。是非、今後は「～がしたい」という意志と、決まったからには責任を持って、協力して取り組むという実行力を大事にしてほしいです。



代替大会・音楽部壮行会

7月31日、表で紹介した代替大会と音楽部の壮行会が行われました。音楽部が演奏し録音したアニメ鬼滅の刃主題歌「紅蓮華」をBGMにユニフォームを着た3年生が入場。その後、各部が舞台上がり、キャプテンが力強く抱負を述べました。最後に、谷大紀君（3年）の発

声による三三七拍子でエールを送りました。そして、1・2年生が花道を作り、その間を照れくさそうに3年生が退場。カッコイイ先輩の姿は1・2年生の目に「憧れ」として映ったことでしょう。

学校はみんなが成長する場。今よりもレベルを上げるキーワードは「当たり前+1、意味を考えて自分から行動」です。例えば、挨拶の意味は人と人とをつなぐ

レベルアップ! 当たり前+1

第1歩であり、コミュニケーションです。1年生の岩橋里桜さんは、毎朝必ず立ち止まってこちらを向いて挨拶してくれます。気持ちがいいです。「相手より先に、目を合わせて、笑顔で、大きな声で、立ち止まって」も+1ですね。また「おはようございます」で終わらず「おはようございます。暑いね。元気。眠い。腹減った・・・」何でもいい。「挨拶+ひと言」で、そこから何気ない会話が生まれ、コミュニケーションが生まれます。心がけてみませんか。（終業式 式辞より）